



丹波の森づくり

《人と自然と文化の調和した地域づくり》

未来へつなぐ「丹波の森創造マラソン」

With The Tamba Forest

公益財団法人兵庫丹波の森協会

丹波市柏原町柏原5600 丹波の森公苑内



兵庫丹波の森協会

検索

丹波の森

“丹波の森創造プラン”
って何だろう？



いったい私たちは、
何をやれば
いいのかな？

丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます

丹波の自然景観を大切にし、花と緑の美しい地域づくりを進めます

1) 丹波らしい土地利用を進める

・丹波ならではの農業、自然環境、そして美しい景観を未来につなぐため、無秩序な開発を抑制し、計画的な土地利用を進める。

2) 山（森林）を守り育てる

・森林の多面的機能を維持し、自然の恵みを享受できる山（森林）を未来につなぐため、適切な森林管理、広葉樹林化、里山の整備・活用、森林資源のエネルギー活用、丹波産材を活用した木育を進める。

3) 川や水辺を守り育てる

・丹波の自然や生物多様性に配慮した丹波の森にふさわしい水辺空間（河川、水路、ため池、河畔林など）を守り育て、暮らしのさまざまなシーンで活用する。

4) 農地を守り育てる

・丹波の森の資産である農地を将来に向かって保全し、丹波ブランド特産物の振興、小規模農家の維持と継承、多様な担い手の確保、スマート農業技術の導入、環境に配慮した農法、動植物との共生を図りつつ獣害対策を進める。

5) 野生動植物と共生する

（生物多様性を育む）

・森や川、田んぼなどに棲む動植物の多様性を守り、学校でのふるさと教育、水辺の多様性を確保した川づくり、生き物や環境に配慮した水路や農作物の栽培方法など、野生動植物と共生を進める。

6) 丹波らしい景観形成を進める

・城下町や農村集落など、丹波らしい景観づくり、歴史的な街並みの保全と活用、住民の創意工夫による彩と潤いのある緑豊かな地域づくりを進める。

7) 公園を活かし、自然を体感する

・丹波の森公園、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園など多様で多彩な緑空間の活用と、これらを結ぶサイクリングやハイキングなど環境の整備に取り組む。

8) 森（丹波地域）を巡る道を活かし、景観を楽しむ

・人や景観に配慮した道路整備、人にやさしい歩きたくなるまちづくり、主要駅と観光地をつなぐ公共交通サービス、4街道などでの休憩や眺望を楽しめるスポット整備を進める。

9) 花を飾り、もてなす

・丹波地域全体で花で飾るおもてなし空間、桜つつみ回廊など桜並木や植樹帯の保全と植え替えなどを進め、巡り楽しめるような仕組みをつくる。



創造プラン

昭和63年に
丹波地域みんなで
話し合い、4つの項目からなる
“丹波の森宣言”が
発表されました。



“丹波の森宣言”の
4項目を引き継ぎ、
“丹波の森創造プラン”として
丹波の森づくりの進め方を
わかりやすく整理しました。
詳細は下記のQRコードで
チェックしてください。

丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切に
し、個性豊かな地域文化を育てます

丹波の素朴さと人情を大切に、安らぎ
と活力に満ちた地域づくりを進めます

1 0) 文化と歴史を大切に、その文化 価値を内外に広く発信

・文化と歴史を未来につなぐため、山城跡の保存と活用、生活文化の担い手となる若者のふるさと意識の醸成、歴史的な建物の保全と多面的活用、丹波地域の気候風土・文化に合った木造住宅の普及、おもてなしの空間づくり、都市住民が地域に関われる取組みを進める。

1 1) 恐竜が生きた大地で暮らす

・点在する恐竜スポットの見どころや道案内システムを充実、地域資源を活用した体験型ツアー、恐竜や化石に関する情報を発信する。

1 2) 森の中で芸術・文化・スポーツを 楽しむ

・丹波の森を体感できる芸術・文化・スポーツに関するイベントを企画・発信できる人材づくり、スポーツ・文化・芸術に関する催しを開催する。



取組みの概要を記載しています。

より詳しく知りたい方は
こちらをチェック 

 丹波の森創造プラン 



1 3) “もりびと”になって、ふるさとを 元気にする

・丹波地域に暮らす人、移住者、関わりのある人（関係人口）などのほか、企業も含めて丹波の森づくりに積極的に取り組む人“もりびと”を育てるとともに、地域で積極的に活躍する人材を育成する。

1 4) 丹波ブランドを育成し、産業を振 興する

・新たなビジネスの場・拠点の創出、丹波地域で暮らす人も移住者も、地域の産業を担う人材となるような仕掛けづくり、若者にとって丹波地域が魅力ある就業先となるよう地域産業を振興・育成する。

1 5) 丹波ファンを拡大し、交流を促進 する

・魅力ある農林業体験や工芸体験、丹波ファンや関係人口の獲得、農家民宿など様々な宿泊や滞在、空き家情報など生活に必要な情報を提供、自然や農とつながるライフスタイルづくりに取り組む。

1 6) 大交流時代（国際化）に対応する

・姉妹都市・交流都市との連携・交流を促進、多言語による情報発信と案内やサポート体制づくり、多文化共生の取組みを推進する。

1 7) 安全安心な地域をつくる

・あいさつ運動や高齢者等の見守り体制づくり、集落ぐるみの防災・減災に向けた取組み、歩行者の安全確保や危険な空き家等の適正な管理に取り組む。

1 8) 集落に暮らし、未来につなぐ

・明るく活気のある集落づくり、集落の維持活動に積極的に携わる人、移住者や関係人口など集落の維持に必要な活動に関わる仕組みづくり、公共交通の維持確保、地域と関わる特色ある教育プログラムなどによる“もりびとづくり”につながる仕組みや拠点をつくる。

「丹波の森宣言」って何？

きっかけは

1987年(S62)頃はバブル経済の中、全国各地で山や農地をつぶして開発が進んでいた。

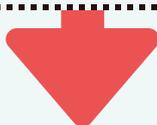
丹波地域も高速道路開通、JR複線電化が進む中、無秩序な開発などによる画一的な都市化が危惧されるようになった。

はじまりは

1987年(S62)4月、当時の貝原俊民兵庫県知事や河合雅雄先生が「丹波は森の国、人と自然と文化を大切にしたい交通網の整備と祭典を機にエネルギーを結集して、ウィーンの森のような丹波の森づくりを進めよう」と提言

丹波地域住民みんなで

1988年(S63)、丹波地域住民で組織する「丹波の森10人委員会」、「100人委員会」で議論し、「丹波の森1,000人大会」で「丹波の森宣言」を採択。丹波地域21,616世帯が同意署名する。



丹波の森宣言

昭和63年9月1日

～人と自然と文化の調和した地域づくり～

丹波の自然と文化は、現在及び将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。

今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせ、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを、次のように進めることを宣言します。

- ① 丹波の健全な発展をそこなうような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- ② 丹波の自然景観を大切に、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- ③ 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切に、個性豊かな地域文化を育てます。
- ④ 丹波の素朴さと人情を大切に、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

1989年(H1)、指針となる「丹波の森構想」策定



(公財)兵庫丹波の森協会って、 どんなところ？

● 設立趣旨は？

● 丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波地域の森づくりを推進するため、次の事業を実施する組織として、合併前の10町が一緒になって設立されました。

- 1. 自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
- 2. 自然とのふれあいに関する事業
- 3. 新しい地域文化の創造及び育成に関する事業
- 4. 丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
- 5. 丹波の森づくりを支援するための公の施設の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 6. その他目的達成のため必要な事業

● どこにあるの？

● 🏠 丹波市柏原町柏原5600番地 丹波の森公苑に事務所があります。

● ☎ 0795-73-0933

● 📠 0795-72-5164

● ✉ mori-kyokai@tanba-mori.or.jp

● 🌐 <https://www.tanba-mori.or.jp>

● どんなことをしてるの？

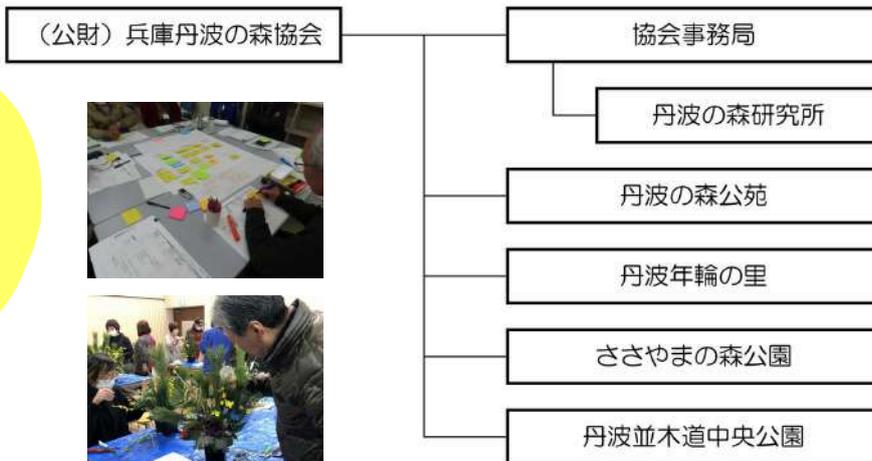
- 🌳 住民参画と協働による丹波の森づくりの推進を図っています。
- 🌳 丹波の森づくりのためのリーダー育成や調査研究・啓発、ウィーンとの森との交流等の事業に取り組んでいます。
- 🌳 丹波の森構想の推進拠点である「丹波の森公苑」「丹波年輪の里」「ささやまの森公園」「丹波並木道中央公園」を運営管理しています。
- 🌳 丹波地域のシンクタンク並びに中間支援組織となることを目標に「丹波の森研究所」を設置しています。



(公財) 兵庫丹波の森協会

もりびとに
なろう!

◆組織図



電話：0795-73-0933 FAX:0795-72-5164
 住所：丹波市柏原町柏原5600
 (丹波の森公苑2F)



◆取組み

1. 森林文化（地域づくり）の創造
 人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために、
 - (1) 魅力ある地域づくりの推進
 - (2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくり
 - (3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進
2. 生活創造活動への支援
 多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。
3. 芸術文化の振興
 人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

丹波のもりびとづくり
(人材育成)



丹波の森大学



ハイソの森国際交流



丹波の森ニガーテン



昆虫大捜査線



丹波のむかしばなし



音楽活動振興助成(ウチタシユウシ班)





丹波の森研究所

研究員の
紹介や
活動報告書を
載せています。



丹波の森研究所は、丹波の森構想の推進を支援するために、公益財団法人兵庫丹波の森協会に設立された地域づくりの研究所です。

地域づくりは住民と行政と企業が手を携えてすすめなければなりません。

そこで丹波の森研究所では、まちづくりの研究者や実務家たちが徹底した現場主義のもとに、丹波の人々と一緒になって里山の保全活用やふるさとの景観整備、中心市街地や集落の活性化など、様々な活動を行っています。

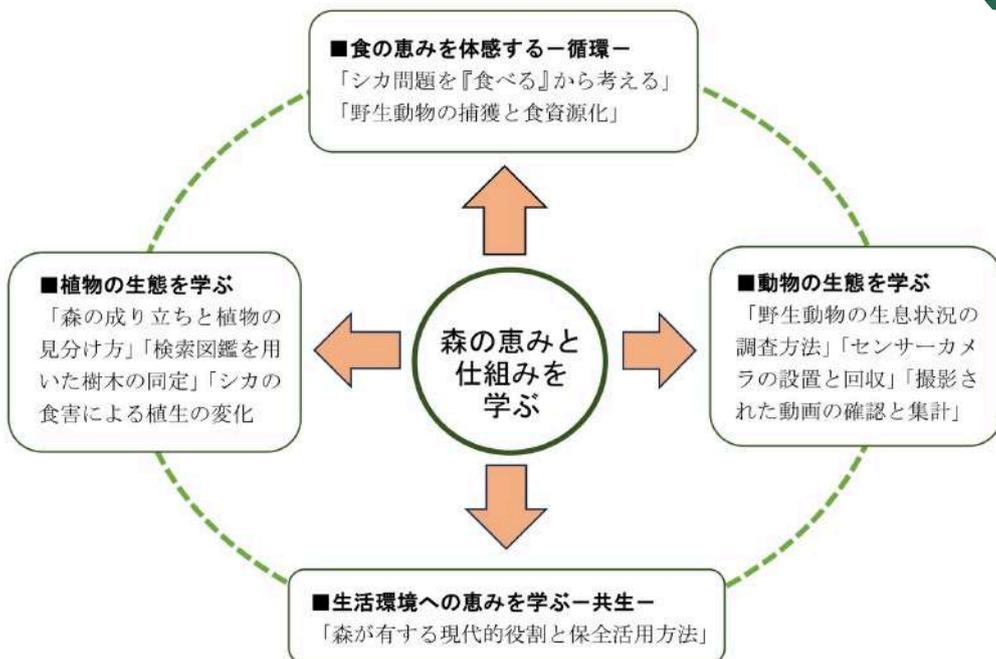
丹波は今も、人口減少と高齢化の大きな波にさらされています。この現実をしっかり立ち向かい、持続可能で魅力ある丹波づくりを皆様とともに考え行動するために、これからも地域づくりの基礎となる調査研究や計画提案を行ってまいります。

また、担い手となる「丹波のもりびと」づくりを目指して、研究所から皆様にお声かけする場合があります。皆様からの積極的な参画を期待しております。

なお、丹波の森研究所のメンバーが取り組んでいる活動を、現在丹波新聞で月に1回程度の頻度で紹介しています。そちらも併せてご覧いただければ幸いです。

丹波の森研究所長(関西学院大学 名誉教授)角野 幸博

丹波2050地域ビジョン 「たんばユース躍動プロジェクト」



自然と文化に
触れる

丹波の森公苑



丹波の森公苑は、芸術文化、環境、健康福祉等の様々な分野にわたる生涯学習や地域づくり活動など、豊かな生活を創造するために皆さまが主体的に活動を行っていただける施設です。



住所：丹波市柏原町柏原5600
電話：0795-72-2127 FAX:0795-72-5164

丹波の森づくりを進める



園芸教室



丹波縄女の森塾



里山整備



間伐材活用講座



秋の実り体験



オ474キイメシ"画
ンテト

イベント



シューハ"ルティアー"テ"
たんば



街角コンサート



丹波の森
子どもミュージ"ル



ホール公演事業



丹波の森フェスティ"ル

豊かな生活を創造するために



丹波OB大学



学ぶ高齢者の
つどい



丹波学



展示キ"ャラー



生活創造活動
グループの支援



展望台から

主な施設



ホール



ワーキング"スタジオ



キッチン"スタジオ



ク"ラウンド"



テニスコ"ート

クラフト創造遊苑

丹波年輪の里



木とふれあい、木に親しむ
手作りの楽しさを
体験してみませんか



住所：丹波市柏原町田路102-3
電話：0795-73-0725
FAX：0795-73-0727

カブリン



クラフト館

クラフト館工作室には、ボール盤、糸鋸盤、丈夫な工作台が備わっており、約20種類のクラフトメニュー・工作体験や、自由工作の場としてもお使いいただけます。ノコギリや金づち、ヤスリなどの基本的な手工具もお貸しします。クラフトメニュー工作については、指導員が丁寧に作り方をお教えします。



糸のこ盤 A室：5台、B室：5台

ボール盤 A室：4台、B室：5台

作業台 A室：9台、B室：6台

いろいろな道具をご用意しています



木の館

木に関する情報・資料の提供、木製品等の展示、木材・木製品・木造住宅など木材利用についての質問や相談を通じて、暮らしに木材を取り入れるお手伝いをしています。また、研修や会議・展示会等貸館利用もできます。



木に関する図書コーナー (通年)

木のおもちゃコーナー

木珠あそび

木のなんでも市 (通年)

子どもから大人まで楽しめる！

みんなの工作室

自由工作や特別木工教室も！

約20種類のクラフトメニュー！

選べる？



アトリエ

専門的で多彩なクラフト・サークル活動や、ギャラリースペースとしても利用できます。



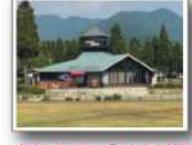
アトリエ作品展 バードカービング

絵画サークル



木のおもちゃ展示館

「丹波の森ウッドクラフト展」の歴代グランプリ作品を展示。



苑内レストラン「ベトナム料理20」
休館日毎週月曜日 (祝日の場合は翌平日)



芝生広場



イベント広場
※ナイター設備あり。



わんぱく広場

特別工作教室

工作室では初心者から上級者までが参加していただけるバラエティーに富んださまざまな特別工作教室を開催しています。

- 「木工基礎講座 (ツール作り)」
- 「木工中級講座 (小引き出し作り)」
- 「刃研學」
- 「木のカトラリー、スプーン教室」
- 「ウッドパーニング教室」
- 「木のおもちゃ作り教室」
- 「オーバルボックス教室」
- 「漆塗り体験教室」
- 「彫刻刀で工作教室」
- 「季節の組み木教室」
- 「ろくろ体験教室」
- 「くりもの教室」
- 「ドールハウス作り教室」
- 「夏休み親子工作教室」

※上記は2023年2024年に実施した教室です。

木育活動

「木育」は、幼児期から原体験としての木材との関わりを深め、豊かな暮らしづくり、社会づくり、そして森づくりに貢献する市民の育成をめざす活動です。

木のお話と木製玩具の貸し出し

木工作のワークショップ

イベント

GW フェスタ

丹波の森ウッドクラフト展 (木のおもちゃ大賞展)

アート・クラフト フェスティバル in たんば

木本市 (もくもく市) 春・秋開催

心を届ける たんば絵でがみコンクール

「産」展や「丹波ウッドワーカーズクラフト」「アトリエ作品展」「竹とんぼ教室」「フリーマーケット」など

テラノサウルスレース in 丹波竜の里

グラウンドゴルフ大会

クリスマスリース教室

緑の中のコンサート



住所：丹波篠山市川原511-1
電話：079-557-0045 FAX：079-557-0201

森を歩き、森と遊ぶ
豊かな森を体感してください



自然豊かな「ささやまの森公園」には、希少種の渡り鳥が飛来したり、希少種の植物が自生しています。また、モリアオガエルをはじめとした多くの生き物も生息しています。そんな自然豊かな森の中を歩ける散策路や、頂上では360°見渡せる深山への登山道もあり、四季折々の多彩な自然を満喫することができます。



一般プログラム

公園では活動スタッフの方々による四季に応じた年間約90もの体験プログラムを実施しています。



カッティング"ボート"を作ろう



稲作体験



水辺の生きものを探そう



ちまきを作ろう



バードウォッチング

団体プログラム

幼稚園から大学までの学校組織や団体の活動の場として公園を提供しています。自然観察や各行事の趣旨を活かしたプログラムを支援することで、里山のすばらしさ大切さを広めていきます。



森の学校

豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育むことを目的に、小学3年生～6年生(募集人数15名)が、普段の生活とは違う里山での自然体験活動を経験しています。

2024年度：17期生



「里山文化」

里山から生まれた多くの文化を学び、自然や資源、環境、農業との関りについて考える県立篠山東雲高校の選択授業「里山文化」に連携協力しています。



イベント



春・秋の里山まつり
4月・11月に開催

園外活動への参加

毎年行われる「ひょうご里山フェスタ」に2023年はウッドバーニングで参加



地元福住地域の催しにも積極的に参加。2023年はスタッフが「シカの角でアクセサリーを作ろう」で参加しました。



本公園は「丹波の森構想」に基づく広域レクリエーション、都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の広域公園です。



住所：丹波篠山市西古佐90

電話：079-594-0990 FAX：079-594-0991

教室



大人の木工教室



花と緑の教室



草木染体験



黒豆収穫体験



赤米の栽培



1000ウォーキング



心と体の癒し講座



丹波篠山の茶葉を使った体験



イベント



なみきみちまつり



なみきみちマルシェ



なみきみちわくわくフェスティバル



なみきみちデイベン?



冬の味覚市

施設



ほねほね化石広場



わくわく恐竜広場



動く恐竜



ローラーすべり台



かやぶき民家



サイクルステーション



森林活動センター

公式SNSでも情報配信中

Follow US.



公益財団法人 兵庫丹波の森協会
丹波の森公苑・丹波年輪の里
ささやまの森公園・丹波並木道中央公園

丹波の森づくり 《人と自然と文化の調和した地域づくり》
未来へつなぐ「丹波の森創造プラン」

2024年10月発行

この情報誌は、皆様から寄附していただいた「丹波の森づくり基金」を活用して作成しました。